

ところ会 令和元年9月例会行事
寺坂棚田と彼岸花

日時：令和元年9月20日（金）
9：00～14：30

参加者：13名、天候：曇り時々晴れ

見学場所、コース全長 約5km
所沢駅～飯能駅～横瀬⇒横瀬町歴史民族資料館⇒寺坂棚田（休憩）⇒6番ト雲寺⇒7番法長寺⇒昼食：天狗坂⇒9番明智寺⇒横瀬駅～飯能駅（解散）～所沢着

山本さんからのコメント

彼岸花は必ずお彼岸には咲く！という確信があったのですが、異常気象でちょっと早かったですね。今年は9月末から10月初旬が見頃だそうです。

天気が良かったし暑くなかったから合格点としましょう。

参加者のコメント

今夏の暑さでの引きこもり状態のままです。9月例会に参加しましたが秋風を感じ、のどかな田園風景でのんびり楽しみました。

地産地消の美味しい食事処での古代米、懐かしい味付けの野菜、お蕎麦はお代わりをしました。あちこちにシュウメイギクがひっそりと咲いているのが印象的で、横瀬町の鳥カワセミのデザインのマンホールが目にとまりました。

9500歩お疲れ様でした。ありがとうございました。



参加者のコメント

上り坂はかなりきつかったのですが、何とか皆さまと一緒に帰れて良かったです。

彼岸花はちょっと残念でしたが、吹いてくる風に秋を感じ、気持ち良かったです。お昼ご飯も美味しかったです。

いろいろお世話様でした。ありがとうございました。

参加者のコメント

『暑さ寒さも彼岸まで』、彼岸の入り心地よい爽やかな風が吹き渡る秋晴れの下、初秋の秩父路巡りを堪能しました。寺坂棚田では稲の刈り取りが進んでいましたが、生育状況があまりよくないと感じました。彼岸花の開花状況は1～2割程度で見頃はまだまだ先のような感じです。でも、黄金色に輝く稲穂と満開の朱色の彼岸花を想像しながらあぜ道を歩き、棚田散策を思う存分に楽しみました。その後、秩父三十四観音霊場の6番、7番、9番札所を巡り、観音様に手を合わせ、思い思いの願い事をしました。途中、「割烹料理／天狗坂」にて昼食。ニジマス甘露煮をメインにとりどりの副菜と古代米のご飯、お蕎麦を美味しくいただき、大満足で帰路に就きました。今回もいろいろお世話になりありがとうございました。



令和元年9月28日午前中の様子です。つぼみの開花が進んできました。全体の5割ほどの開花です。
【横瀬町のホームページより】

参加者のコメント

久しぶりに、日本の里山の風景に会えた一日でした。稲刈りが終わった棚田も幾つもありましたが、まだ一面に黄金色の稲穂が実をたわわにして、風に揺られている姿に感動しました。

西武線もかなり空いていて往復ともボックス席に座る事が出来、乗車するや否、お菓子、お酒、お喋りであったという間に目的地につき、電車が正丸峠を渡った事も知らずに、話に花を咲かせました。

ランチの味も丁寧で、お蕎麦のお代わりをする人もあり。このランチには満腹と満足の笑顔でした。

札所三つの巡りでメンバーの方々の中には、来年はもう少し彼岸花が咲いた頃に来られるように、お願いした方もいらっしゃったのではないのでしょうか。

日照りが強く暑い日でしたが、心地よい風も味わえ、とんぼ達が自由に飛び交う姿に、自然の中に自分もいる事を十分に満喫出来ました。

いつもながら綿密で楽しい企画に感謝しております。有難う御座いました。

参加者のコメント

雄大な武甲山を背景に昔ながらの天日干し「はぜかけ」の風景は黄金色の稲穂とマッチして「日本昔話」の世界そのものでした。

飯能から横瀬までの小さな旅は正丸トンネルを通過したことも記憶になくなるほど笑い声が響き、楽しい時間が過ぎました。

天狗坂のお店は巡礼に対する「ご接待」の心があり私達にもその心が伝わりました。

B級グルメの味噌ポテト、和え物、煮物、古代米、お蕎麦を美味しく頂きました。

一休みした場所で誰からともなく言った「風通しのいい場所」の言葉に癒されました。

有り難う御座いました。

参加者のコメント

昨日は日和にも恵まれ、日本の農村の原風景を見る様な黄金色の棚田とちょっと早かった彼岸花に感動し、また横瀬町歴史民俗資料館はこじんまりした中にも、秩父の歴史のふるさを彷彿とさせる展示品の数々に触れることができました。

「天狗坂」の昼食は山里の食材と工夫された調理に思わず何の材料か？味付けは？等質問しつつ、ゆったり寛ぎながらいただきました。

担当の皆さん、ご案内頂き本当に有難うございました。

ここ、数年に渡っての彼岸花を巡る例会では、初めて晴れに恵まれた一日となりましたが、今年に限って彼岸花の開花が例年より遅れて今一でした。棚田の風景には皆さん満足していただけたようで、又昼食の古代米定食も好評で、満足のいく例会となり感謝しています。居田



寺坂の棚田を背景に（彼岸花の朱色全然見えていません）